



装備の知識について



アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッド・ランプ



ドア・アウトサイド・ハンドル

ハザード・ウォーニング・ランプ
サイド・ターン・シグナル・ランプ

ハザード・ウォーニング・ランプ
フロント・ターン・シグナル・ランプ

スモール&パーキング・ランプ

テール&パーキング・ランプ

反射器

ハザード・ウォーニング・ランプ
ターン・シグナル・ランプ

テール&ストップ・ランプ

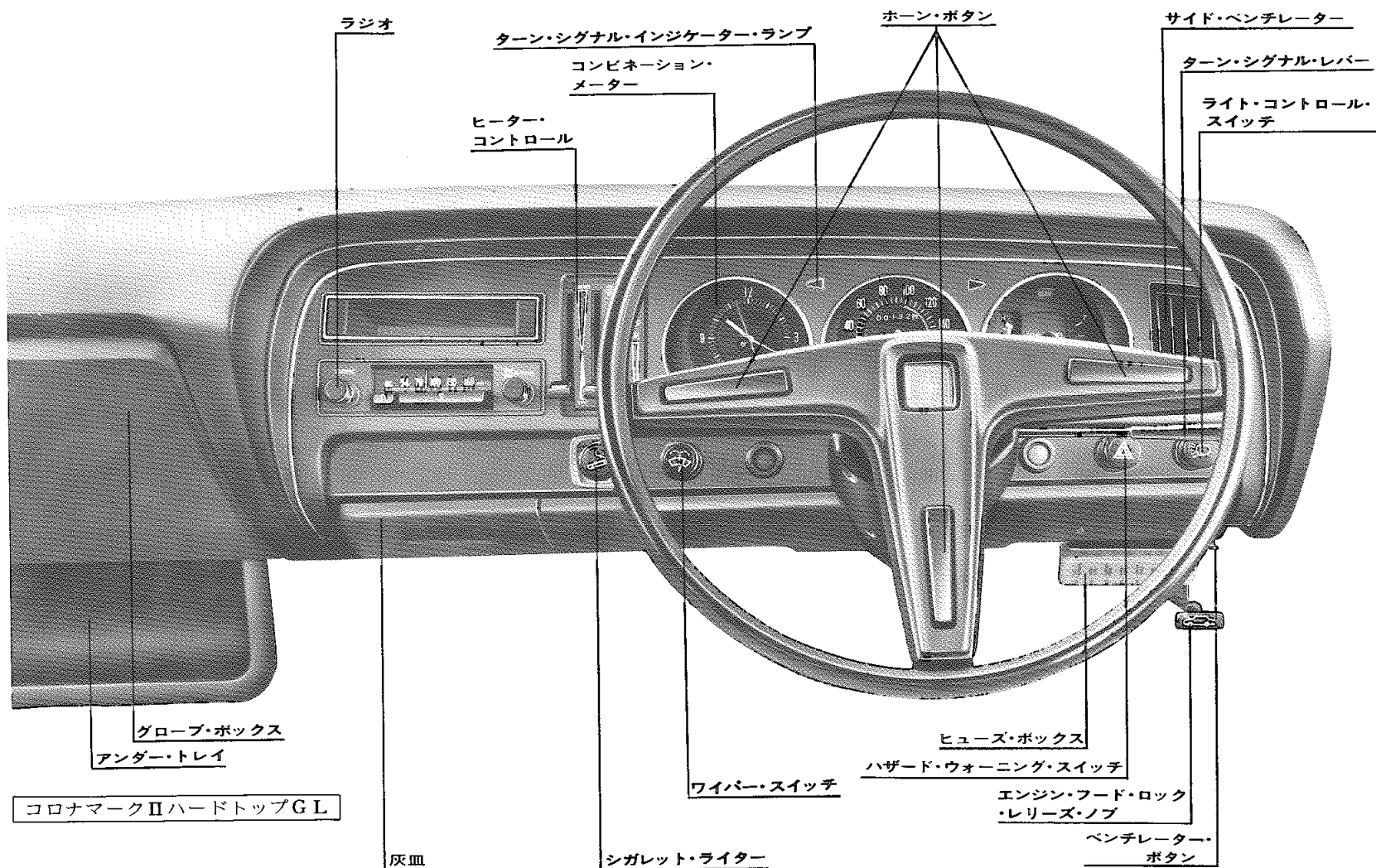
バック・アップ・ランプ



トランク・リッド

ナンバー・プレート・ランプ

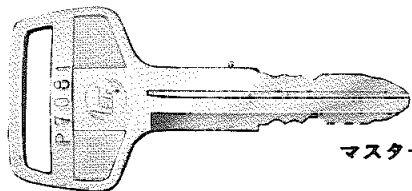
コロナマークIIハードトップ GL



ご購入の前に

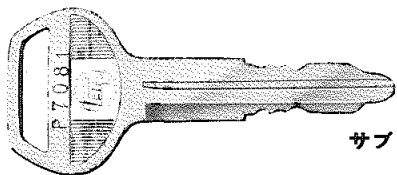
■ ドアについて

■ キーの確認をしましょう



マスター・キー

(すべてのキーシリンダーに使用)



サブ・キー

(トランクとグローブ・ボックス以外のキーシリンダーに使用)

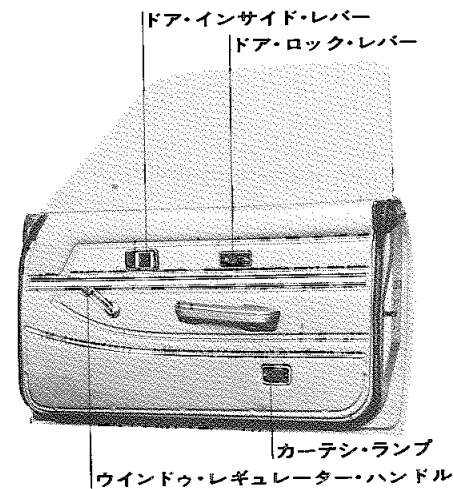
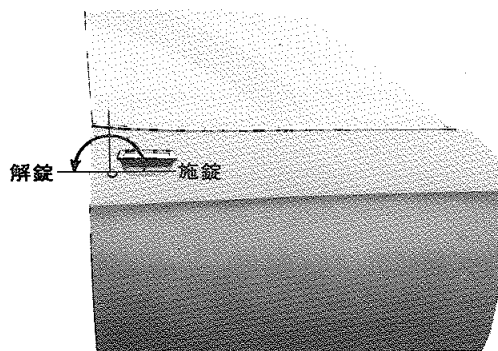
サブ・キーはトランクとかグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときのなどにお使いください。

● 注意

キー・ナンバーをひかえておきましょう。
万一、キーを紛失されたときは、取り扱い店にご相談ください。

キー・ナンバー

マスター・キー	
サブ・キー	



ドアを開けるときは

外側から……

ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

内側から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

☆注意

必ず後方確認をしましょう。

いきなりあけると後続車がぶつかり危険です。

ドアを閉じるときは

安全のため2段ロック式になっています。

確実にしめましょう。

☆注意

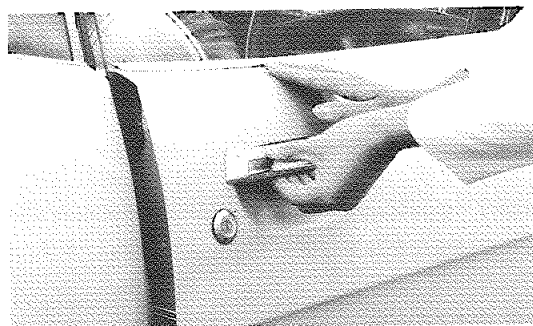
半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは

車内から……

ロック・ボタンをロックの位置に。

車外から……



ロック・ボタンを、ロックの位置にしてドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げたままドアを閉めます。

☆注意

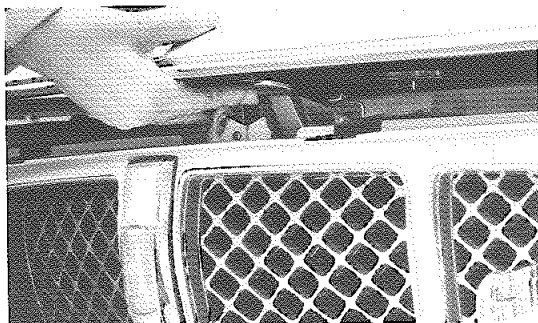
キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

■エンジン・フードを開けるには



①計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



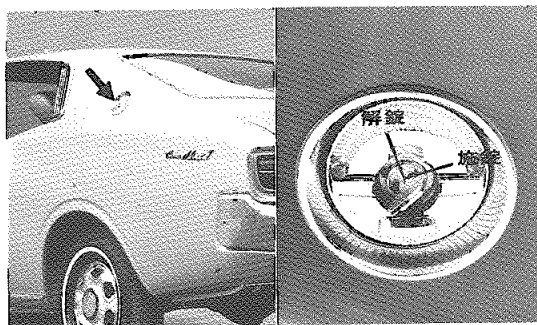
②エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。

③閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

★注意

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

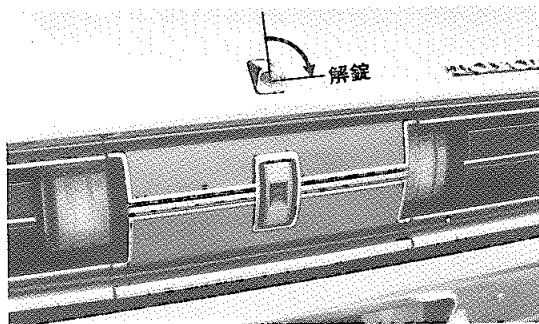


キーでロックをはずしキャップを左にまわします。

■使用ガソリン

ガソリンは、レギュラー・ガソリンをお使いください。

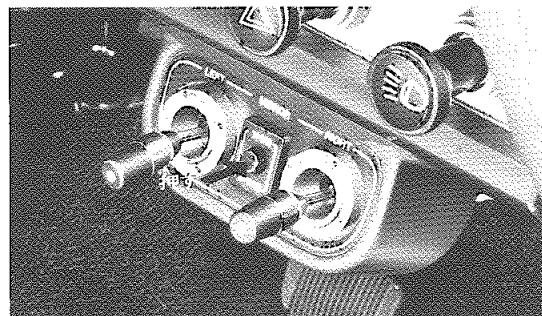
■トランクを開けるには



閉じるときは、上から手で押えつけるとロックされます。また、GL車以上はライト・コントロール・スイッチがONのときにトランクを開けるとランプが点灯し、トランク内が照明されます。

トランク・オープナー

GSL, LA, L車オプション仕様

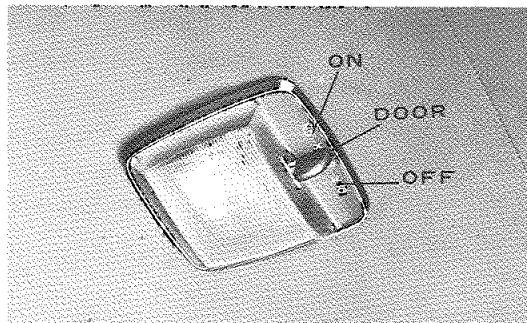


エンジン・スイッチがACCまたはONのときボタンを押すとトランク・リッドが浮き上がります。

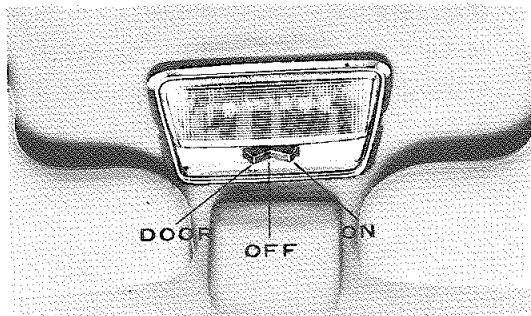
★注意

キーをトランク内には置かないようにしましょう。

■ルーム・ランプとドアの関係は



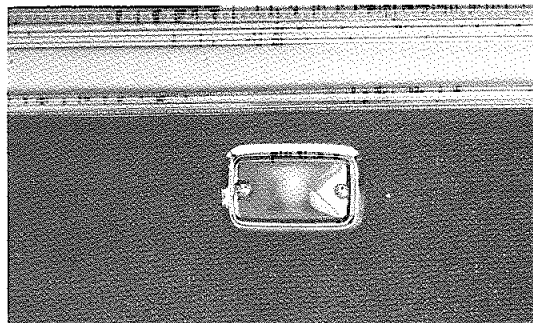
LA以上



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- ① O N……………ドアの開閉に関係なく点灯
- ② D O O R……………ドアを開いたときのみ点灯
- ③ O F F……………ドアの開閉に関係なく消灯

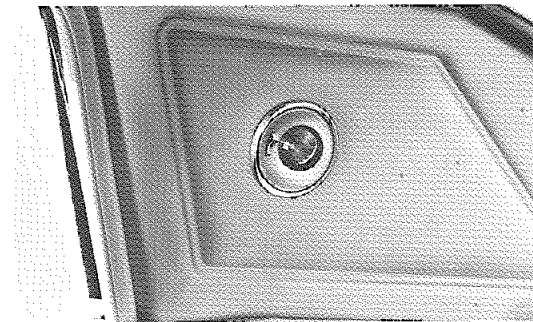
■カーテシ・ランプ



左右ドアの足もとに取りつけてあります。
ドアを開いた時、常に点灯します。

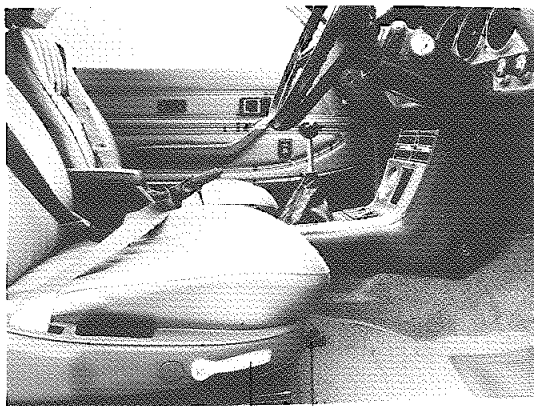
■リヤ・ルーム・ランプ

LA車以上



スイッチを押すと点灯します。

シートについて



シート・アジャスト・レバー
リクライニング・アジャスト・レバー

■**フロント・シートの位置を調整しましょう。**
シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。ペダルを十分に踏むことができる、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

リヤ席の乗り降りのはきは、シート・バックを前にいっぱい倒します。

助手席には、シートの左にリクライニング調整レバーがあります。

シート・バックをいっぱい前に倒すと、シートを前に押し出すことができます。

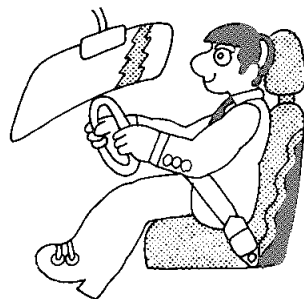
シート・バックをもとへもどすと、シートは自動的に少しさがりますが、このとき確実にロックするまで後ろにひいてください。
もとの位置へもどすときは、シート下のレバーで調整してください。

★注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

■**ヘッド・レストを正しい位置に**
前に押して高さを2段に調整できます。

上の位置で使用してください。
ヘッド・レストの正しい位置



■**セーフティ・ベルトを忘れずに**

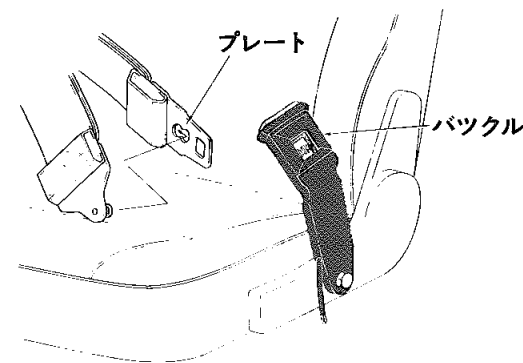
運転するときは、必ずセーフティ・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。また破れがないか点検をしましょう。

なお、汚れを落すには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

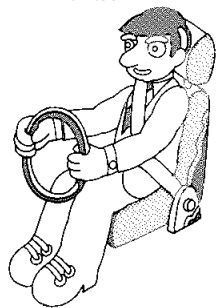
フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

装備方法

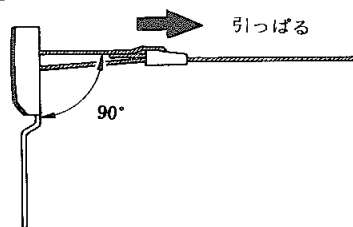
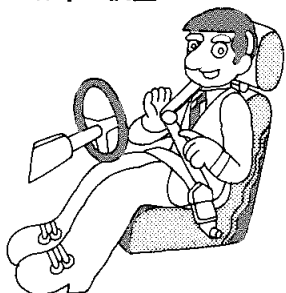
1. シートを運転しやすい位置に調節し腰ベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認します。
2. 肩ベルトを、少し長目に調節して、ねじれていないことを確認してプレートにはめます。
3. 2.でセットしたプレートをバックルにはめ、腰ベルトを体に合うように調節してください。



ベルト装着の正しい状態



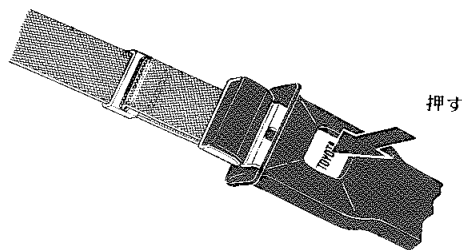
ベルトの調整



リトラクタからいっぱい引き出し、運転操作の妨げにならない長さに調整します。
 ベルトをひき出すときは、リトラクタから直角にひき出してください。
 胸とベルトとの間は、にぎりこぶしがある位の余裕があるように調整します。

★注意

1. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。
 2. お子様を使用することはやめてください。
- 取りはずし



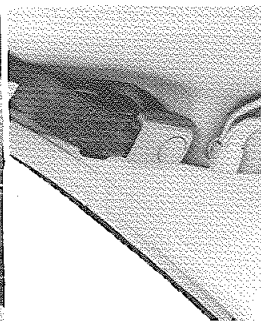
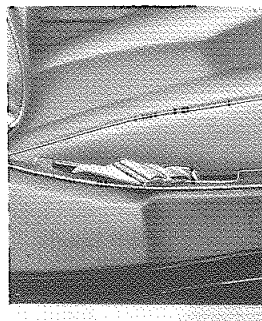
腰ベルトは、バックルをドア側に向けて一度引き手を離せば自動的に格納されます。
 また、短時間車から離れ、再び運転をするときは肩ベルトはバックル・プレートに取り付けたままにしておいても差しつかえありません。

格納方法

空席のベルトは図のように格納しましょう。

〈腰ベルト〉

〈肩ベルト〉

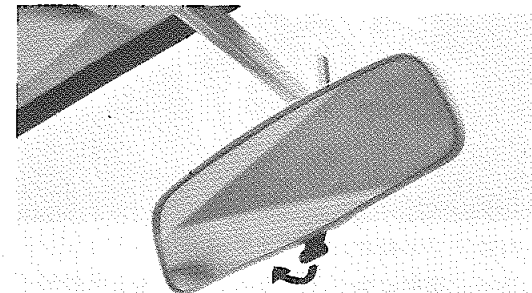


■ミラーの調整をしましょう。

インナー・リヤ・ビュー・ミラー
 アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

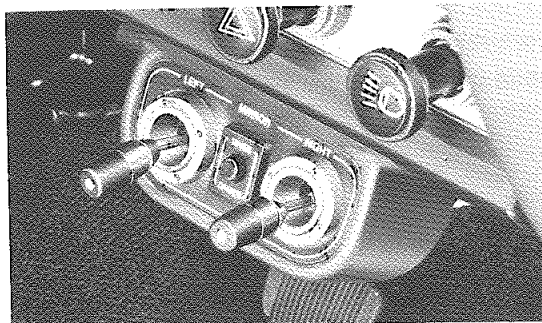
防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー



夜間走行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。
 ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認しやすくなります。
 防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

リモート・コントロール・ミラー

GSL, LA, L車オプション仕様

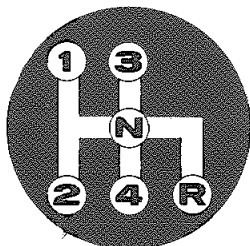


左右のノブの動きは、アウター・リヤ・ビュー・ミラーと連動になっていますので、後方視野が十分確認できる位置に調整しましょう。

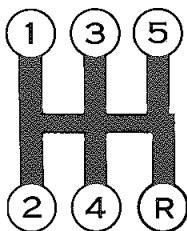
シフト・レバーの各レンジ

■マニュアル・トランスミッション

4段フロア・シフト

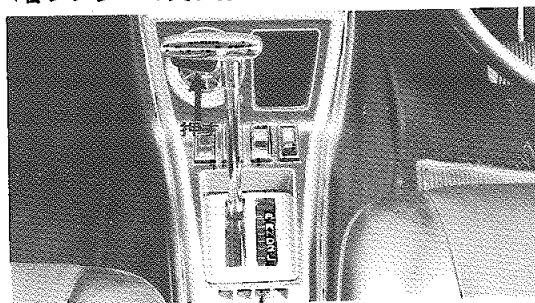


5段フロア・シフト



■オートマチック・トランスミッション

<各レンジへの入れ方>



3速フロア・シフト



そのまま動かします。



コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。

パーキング・レンジ

駐車するときの位置、(この位置でもエンジンを始動することができる)

リバース・レンジ

車をバックさせるときの位置

ニュートラル・レンジ

エンジンを始動する位置

ドライブ・レンジ

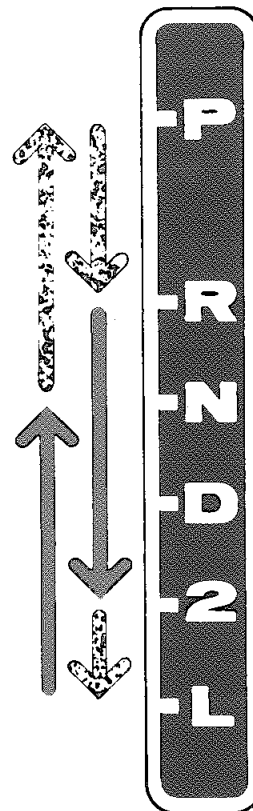
通常走行する位置

セカンド・レンジ

エンジン・ブレーキが必要なときの位置

ロー・レンジ

強いエンジン・ブレーキが必要なときの位置



☆注意

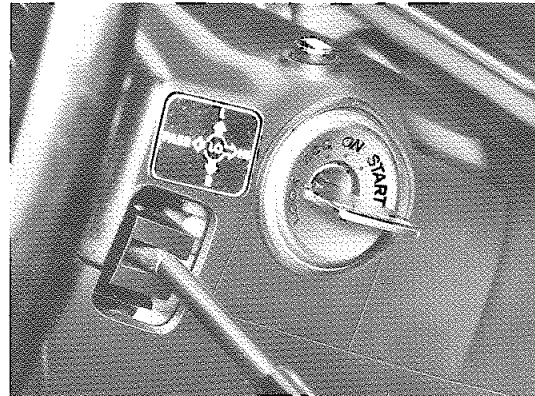
1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引き、**Ⓝ**または**Ⓟ**レンジにしてください。
2. **Ⓟ**と**Ⓡ**へは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中、**Ⓝ**または**Ⓟ**以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、**Ⓝ**レンジから**Ⓟ**または**Ⓡ**へ切り換えることは危険です。必ずペダルを離して、から**Ⓟ**または**Ⓡ**へ切り換えてください。

<運転のしかた>

- 通常は**Ⓟ**で発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤに、トップ・ギヤにと自動的にかわります。
- マニュアル・トランスミッション車と同様に、**Ⓟ**から発進し、**②**⇒**Ⓟ**へと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路をくだるときは、スピードに応じて**Ⓟ**または**②**に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなどで急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは**Ⓟ**でも、ギヤはトップからセカンドまたはローギヤに切りかわって急加速ができます。
(キック・ダウン操作)

メーター、スイッチ類 について

■エンジン・スイッチ



- LOCK**…キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。
- ACC**……エンジンを止めたまま、ラジオおよびカー・ステレオの開ける位置。
- ON**……エンジン運転中の位置。
- START**…エンジンを始動する位置。
手を離せば自動的に**ON**にもどります。
- ロック**
キーを**ACC**から**LOCK**の位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。
- アン・ロック**
キーが**LOCK**から**ACC**にまわらないときは、ハンドルを軽く左右にまわしながらエンジン・キーを**ACC**の方向にまわすとはずれます。

☆注意

1. エンジン停止時スイッチは**LOCK**または**ACC**の位置にしておきましょう。
長時間停止するときは**LOCK**の位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのまま**START**の位置で長時間回さないでください。
バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているときキーを、**START**の位置に回さないようにしましょう。
スターターが無理にかみあい破損します。
5. 走行中はキーを絶対に**LOCK**の位置まで回さないでください。
危険です。

■チョーク

オートマチック・チョーク付車は寒冷時、エンジンを始動するときに、自動的にチョークがはたらいで、始動を容易にするようになっています。
オートマチック・チョーク付車以外はチョーク・ボタンで操作します。

オートマチック・チョーク

- ①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外 気 温	踏 む 回 数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

- ②アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。

- ③しばらく暖機運転をします。

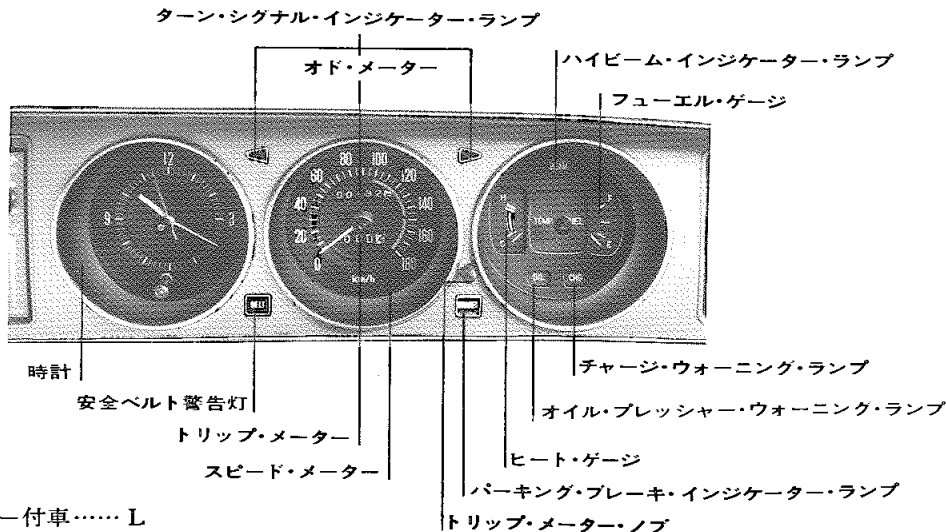
オートマチック・チョークが働いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているのでアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。

- ④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏み込んでから離します。

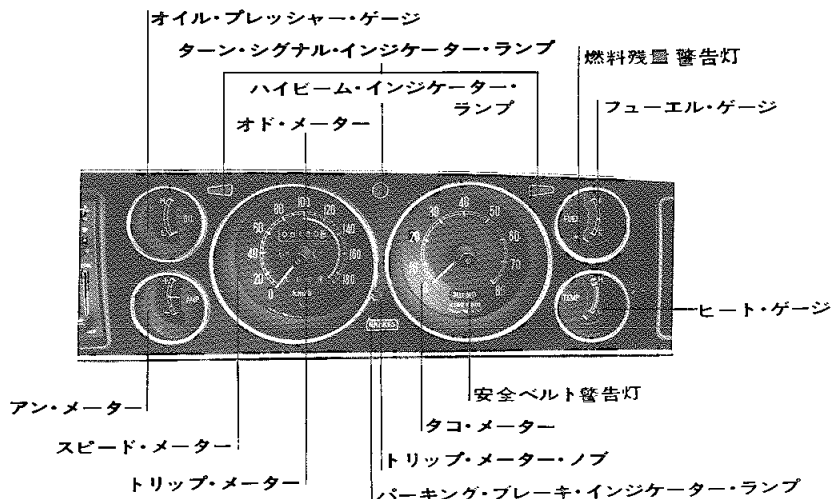
アクセル・ペダルを踏み込むと、チョークがもどりアイドリング回転になります。

■メーター類

角型 3眼メーター付車……DX, GL, L-A

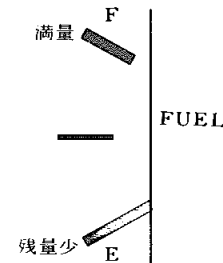


丸型 6眼メーター付車……L



■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。
エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

■燃料残量警告灯

丸型 6眼メーター付車

エンジン・スイッチがONのとき、フューエル・タンク内の燃料が10ℓ以下になると点灯(赤色)します。

■ヒート・ゲージ〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。

指針がレッド・ゾーンにはいったら、オーバーヒートの危険信号です。適当な場所でしばらく休んでエンジンを冷やしてから運転してください。
イエロー・ゾーンまでは走行してさしつかえありません。

■**チャージ・ウォーニング・ランプ**〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ**

〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**パーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプ**

エンジン・スイッチがONのときパーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)します。

そのままの状態、ブレーキ・ペダルを踏むとブレーキ配管系統に異常がなければ、ランプが消灯します。

■**ハイ・ビーム・インジケータ・ランプ**

ヘッドランプがハイビームのとき、ハイビーム・インジケータ・ランプが点灯(青色)します。

■**ターン・シグナル・インジケータ・ランプ**

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケータ・ランプが点灯(緑色)します。

■**安全ベルト警告灯**

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、セーフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■**スピードメーター**

指針は車の走っている速度を示し約100km/h以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがあります。が異常ではありません。

■**オドメーター**

走行した総距離をkmの単位で表わします、白地に黒文字は、100mの単位です。

■**トリップ・メーター**

オドメーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または、期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。

0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■**タコメーター**

丸型6眼メータ付車

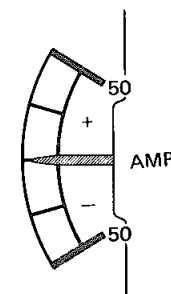
エンジン回転数を示します。

目盛の60以上は、赤色でレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。

指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

■**アン・メーター**

丸型6眼メータ付車



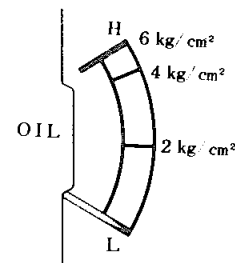
指針の位置 { +側……充電状態
-側……放電状態

エンジン始動直後、指針は⊕側に一時大きく振れますがその後徐々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。

エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、充電系統の故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

■**オイル・プレッシャー・ゲージ**

丸型6眼メータ付車



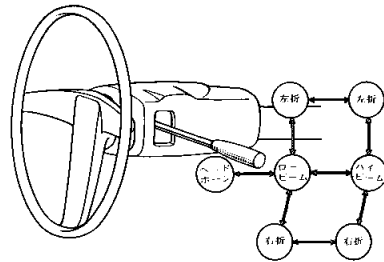
エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

エンジン回転数を上げてても指針が動かないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。オイル量が正規であれば、他のところに故障があります。

■時計

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま、まわして行ないます。

■ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅します。

ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッド・ランプ・ホーン・スイッチとして……

レバーをロービームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……

夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

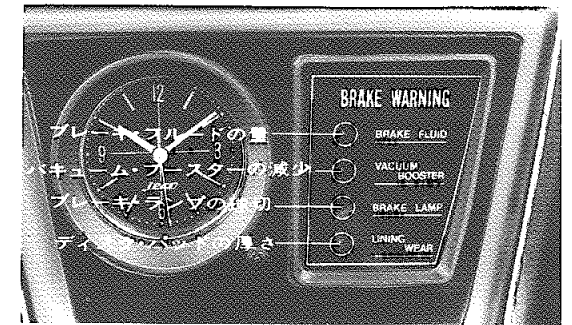
■残光式ヘッドランプ L車のみ

ヘッドランプを消したあと、ドアをあけてから、ターン・シグナル・レバーをヘッドランプ・ホーンの位置にすると、ヘッドランプが約20秒間点灯して消えます。

夜間の車庫入れ後の足もとの照明などにご使用ください。

残光式ヘッドランプの操作をした後、すぐ消灯したい場合は、ライトコントロール・スイッチを引き出して、またすぐ押しこめばヘッドランプは消灯します。

■ブレーキ・ウォーニング L車オプション仕様

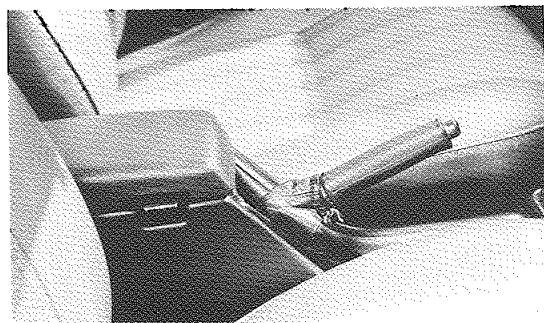


1. エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると4個の発光素子が点灯します。発光素子の点灯はエンジン始動後、数秒間続きその後消灯します。
2. エンジン回転中に検知個所に異常があれば、該当個所の発光素子が点滅し同時に警告音が異常を知らせます。異常個所が発見されたら、ただちに車を止めて最寄りの取扱販売店へ連絡しましょう。

★注意

1. ブレーキ・ウォーニングだけで仕業点検を済ませず、お出かけ前の点検はエンジン・フードを開けて行なってください。
2. 上記の1.で発光素子が点灯しない場合、または点灯しても消えない場合はコンピューター内部に異常があるため最寄りのサービス工場へお出かけください。

■ パーキング・ブレーキ・レバー

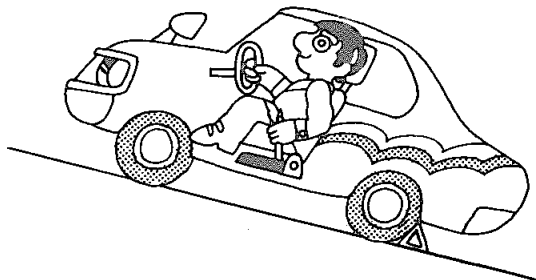


駐車時いっぱい引いて使用します。

もどす場合は、レバーを少し引きあげてレバーの先端のボタンを押さえてもどします。

坂路での駐車は……

図のようにパーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバースに入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。

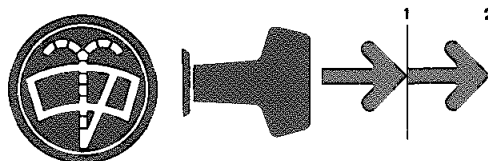


■ ワイパー & ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに作動します。

ワイパー・スイッチ

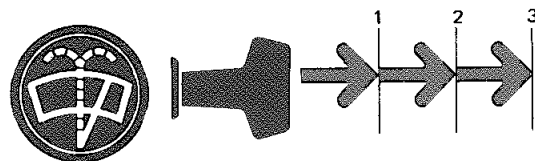
デラックス車



1 段……低速 普通雨量のとき

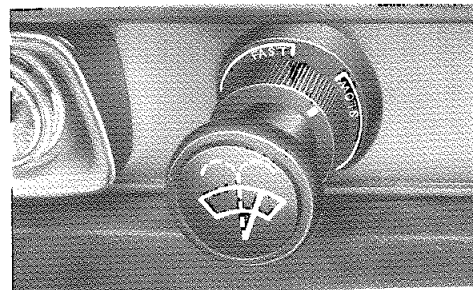
2 段……高速 雨量の多いとき

GL車以上



1 段……約4～12秒おきにワイパーが1回作動します。

雨雪量の少ないときに使用してください。スピード調整ツマミで、ワイパー停止時間を4(ファスト)～12秒(スロー)まで調節することができます。

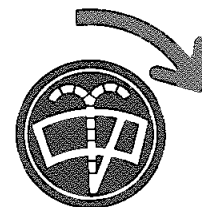


2 段……低速、普通の雨雪量のときに使用してください。

3 段……高速、雨雪量の多いときに使用してください。

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ



ウィンドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを右にまわすとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

ウィンドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

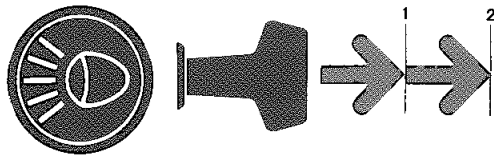
☆ 注意

1. 汚れたまま使用するとガラスに傷がつきます。

ウィンドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。

2. ウィンドウ・ウォッシャー液がカラのときはスイッチをまわさないでください。まわすとポンプをいためる恐れがあります。

■ライト・コントロール・スイッチ

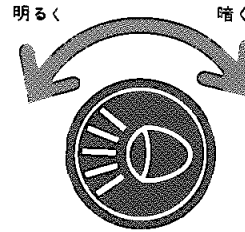


エンジン・スイッチに関係なくランプがつきます。
①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッドランプ		○
スモール・ランプ, テール・ランプ	○	○
ナンバー・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

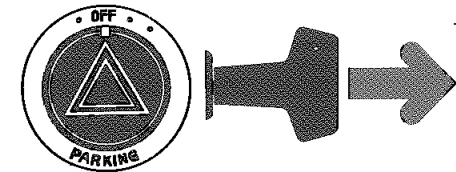
メーター・パイロット・ランプの明るさ調整

GL車以上



ライト・コントロール・スイッチを左右にまわすと、メーター・パイロット・ランプの明るさがかわります。
周囲の明るさに応じて調整してください。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ
ハザード・ウォーニング・スイッチとして



故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

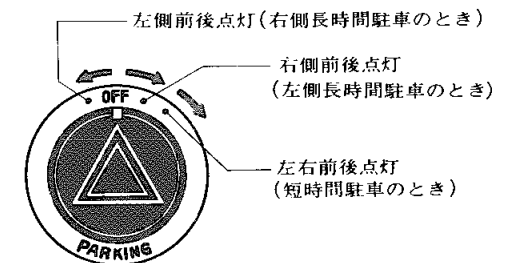
★注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。

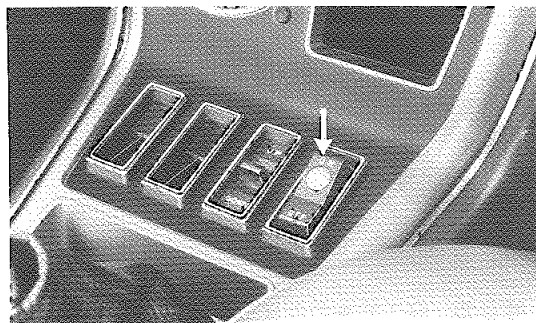
走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。



■リヤ・ウインドウ・デフォガ・スイッチ



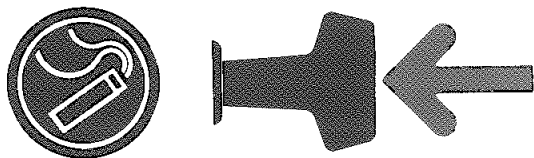
リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。

スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★注意

デフォガは消費電力が大きいため、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。スイッチを入れっぱなしにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雪をとく能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■シガ・ライター



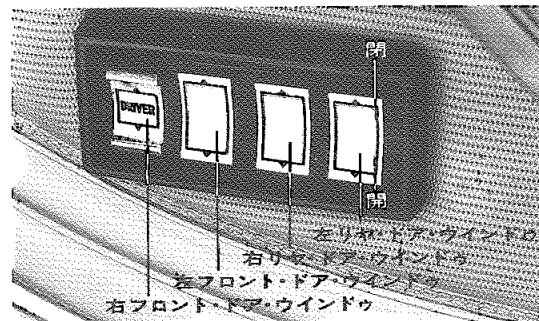
シガレット・ライターは、押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★注意

押さえつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■パワー・ウインドウ・スイッチ

L車のみ



ドア・ウインドウ・ガラスはすべてスイッチで開閉できます。

運転席のドアには、全ドアのウインドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

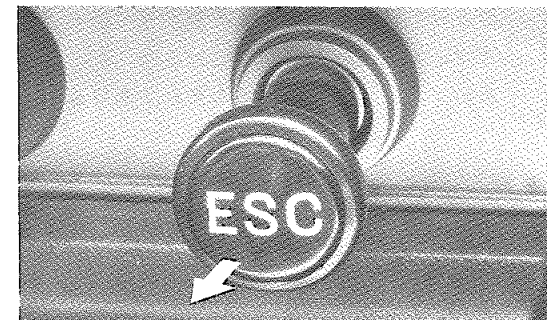
★注意

ウインドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

■ESC(電子制御式スキッド防止装置)

GL車以上オプション仕様

運転のしかた



〈走行前のチェック〉

1. エンジン・スイッチをSTARTの位置にするとスターターが回転し、同時に赤色のパーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプが点灯します。点灯しなければヒューズ、電球が切れていますのでサービス工場へ連絡してください。また電球切れはブレーキ・ペダルを踏まずパーキング・ブレーキのみ引いた場合にも点灯するのでチェックできます。
2. エンジンをかけてからブレーキ・ペダルを踏みチェック・スイッチを引っぱると、スイッチノブに埋込まれた緑色のオペレーション・ランプが点滅しエンジン・ルームから作動音が聞こえます。緑色ランプが点滅しない場合はESCに故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

3. 以上のチェックをして異常がなければ走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。作動時にはオペレーションランプが点滅します。

＜走行中のチェック＞

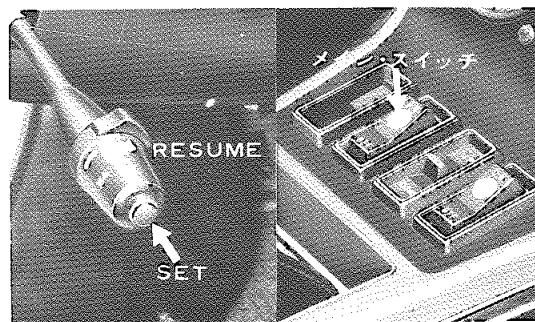
1. 走行中、赤色のパーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプが点灯した場合はESCに故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

★注意

万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通のブレーキ機構に戻ります。

■オート・ドライブ

GL車以上オプション仕様



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のセット・ボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。

セット・ボタンを離した時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1)ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2)クラッチ・ペダルを踏んだ時

＜マニュアル トランスミッション車＞

- (3)シフト・レバーをNにした時

＜オートマチック・トランスミッション車＞

- (4)パーキング・ブレーキを引いた時
- (5)メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1)微増速の場合

セット・ボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2)微減速の場合

セット・ボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、セット・ボタンを離してください。

(3)増速の場合

そのままの状態ですぐアクセルを踏み、希望の車速になったら、セット・ボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

＜車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときのみ＞
オート・ドライブ作用時、ブレーキまたはクラッチを作動させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどきたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回してください。

★注意

アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

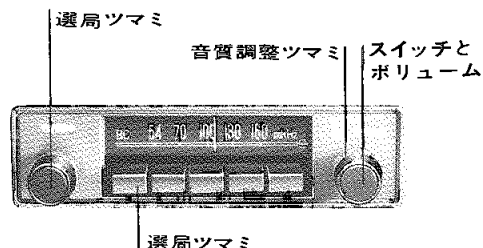
運転を楽しく、快適にー

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

プッシュ・ボタン式

デラックス車



<電源スイッチとアンテナ>

ラジオのスイッチを押すと、電源が入り同時にアンテナが1段とび出します。

アンテナをさらにのぼりたいときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい押し込むとロックされるので次に使用するときには、再びラジオの電源スイッチをONにします。

<選局ボタンのセットのしかた>

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミで望みの局に合わせてみます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行ったなら選局しなおしてください。

<選局ツマミ>

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

<音量調整>

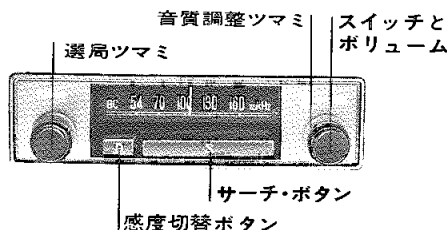
音量調整ツマミをまわしてお好みの音量に調整してください。

<音質調整>

音質調整ツマミをまわしてお好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

GL, LA車



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

<選局のしかた>

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

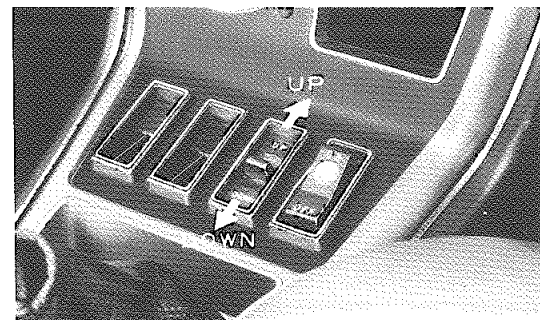
<感度の切替>

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。

もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

<スイッチとアンテナ>

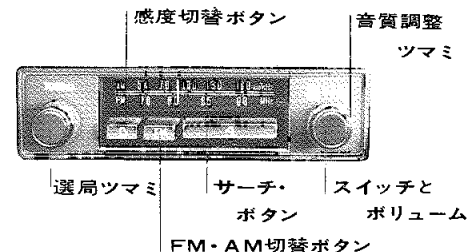
GL車以上



スイッチの前側を押すとアンテナは自動的に上がります。後側を押すとアンテナは下がります。

AM・FMサーチ・チューナー式

L車



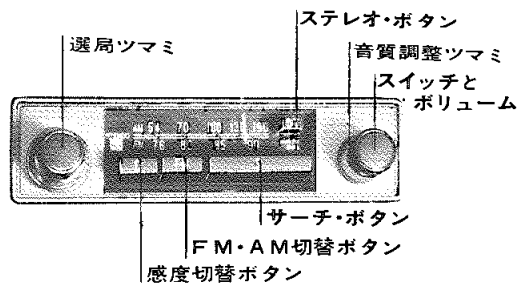
<FMボタンのセットのしかた>

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

AM・FM・マルチ・ステレオ式

オプション仕様



選局のしかた、FMボタンのセットのしかた、感度の切替え、ともにAM・FMサーチ・チューナー式と同じです。

〈マルチ・ステレオのセットのしかた〉

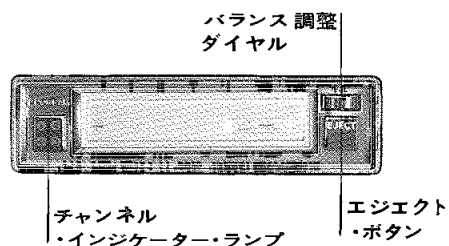
ステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。

ステレオ受信中にはステレオ・インジケーター・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンは戻りFMモノラル放送にかわります。

■カー・ステレオ

オプション仕様



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと自動的にチャンネル・インジケーター・ランプがつき演奏が始まります。

〈バランス調整〉

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

〈音量調整〉

ラジオの音量調整つまみをまわして適当な音量に調整してください。

〈音質調整〉

ラジオの音質調整つまみをまわしてお好みの音質に調整してください。

〈チャンネル切替〉

演奏中、スイッチを押すと他のチャンネルに切替えることができます。

1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切り替わります。

■ヒーター

温度調整レバー

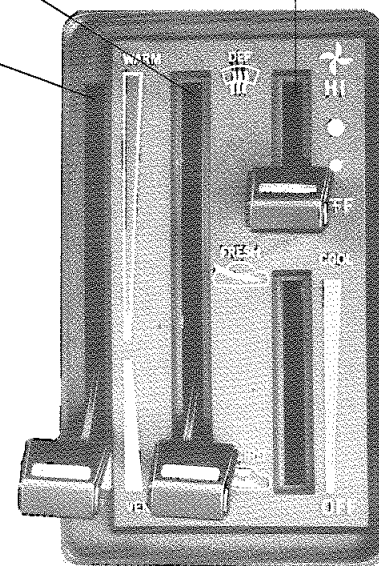
WARM 室内暖房
VENT 室内循環

内外切替レバー

DEF ガラス曇り止め
FRESM 外気導入
RECIRC 内気循環

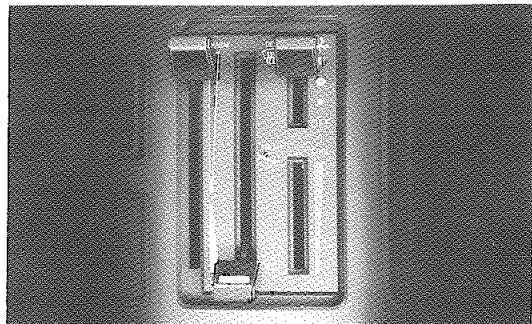
ファン・スイッチ

HI 強い風
● 中風
● 弱風
OFF 停止



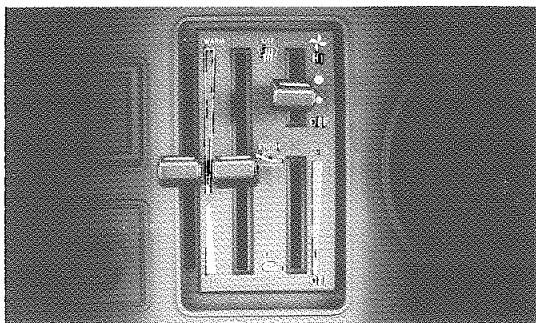
ヒーターは次のような機能をもっています。
①ヒーター(暖房用)として
②デフロスタ(曇りどめ)として
③ベンチレーション(換気用)として
スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

1. 内気による室内暖房



外気がとくに冷たいときは、外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。
窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

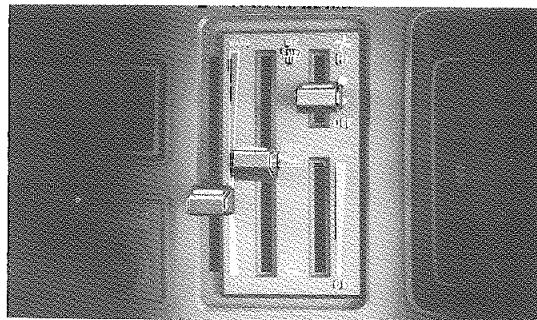
2. 外気による室内暖房(通常のご使用の場合)



WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

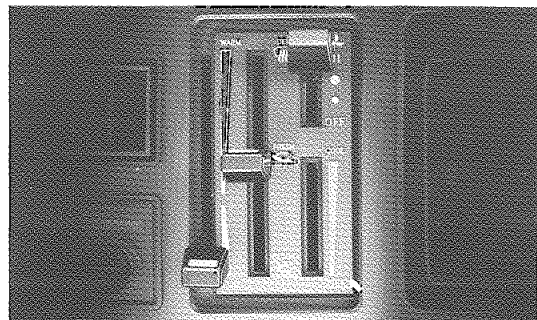
WARMに近づける程、ベンチレーション・ルーバーからの風が強くなります。

3. 車を暖めながら換気する操作



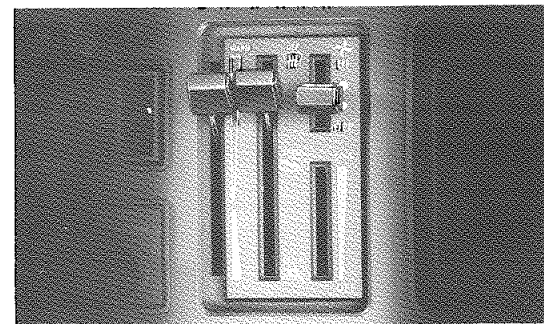
4. 強制ベンチレーション

(夏期ベンチレーション)



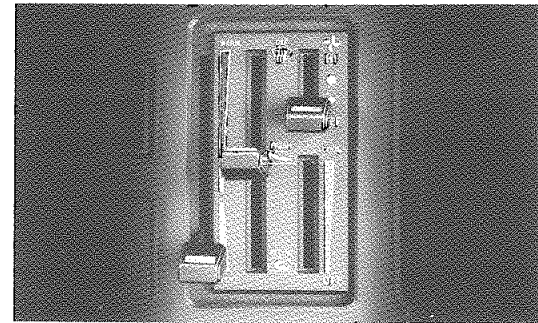
サイド・ベンチレーターも使用すると一層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ(冬期の場合)

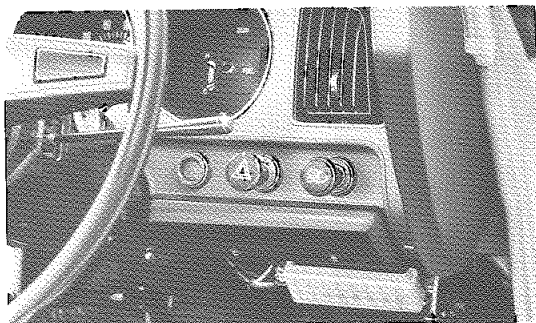


曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作



■ サイド・ベンチレーター

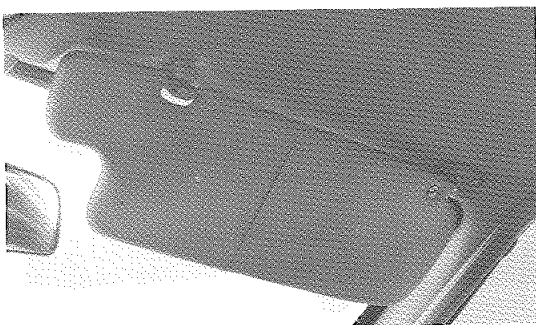


車内の空気を入れかえたいときノブを引いて使用します。

ベンチレーターから新鮮な空気がはいります。

また、中央部のルーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■ サン・バイザー



ホルダーからはずすと、横にまわすことができます。

■ グローブ・ボックス

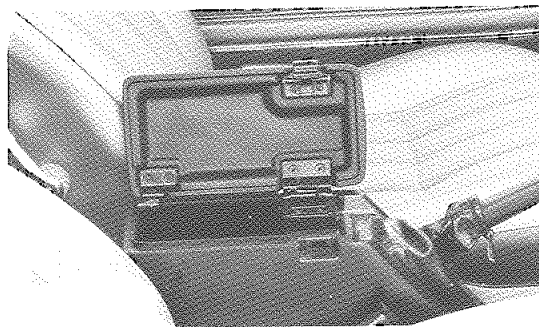


キーで解錠してつまみを左にまわします。

また、ライト・コントロール・スイッチがONのときにふたを開くとボックス内右側のマップ・ランプがつきます。

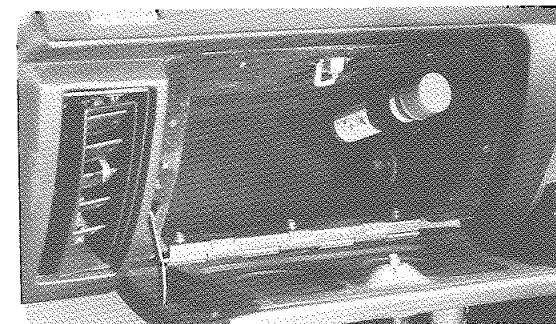
なおグローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーで行ないます。

■ コンソール・ボックス



運転席側のボタンを上押しあげてフタを開けてください。

■ 保安炎筒



非常事態が発生したときに使用します。使用法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。ラベルに明示されていますので確認しておきましょう。

発炎時間は5分間です。

★注意

非常信号用としてのみご使用ください。

使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。

また、トンネル内で使用すると視界がわるくなり危険ですので絶対使用しないでください。

